

# わたしの夢

2023-10-27

野口幹夫

太田さんから今月のテーマに夢を提案していただきました。夢といえば青春、米寿の我々には似つかわしくないとい瞬思、いやいやいつでもこの歳になっても夢を持つことは大切だと思直しました。中西さんからも老翁の夢を語っていただきました。

わたしもささやかな夢を語ります。

わたしが1994年から担当し、29年続けてきた茅ヶ崎カトリック教会の「入門講座を、95歳まで継続すること」それが今持っている夢です。

54歳の時 当時神父さんがやっておられたこの講座を受けて洗礼にたどり着き、そのまま継続して受講を続け3年したら、なんと「この後あなたがこの講座を引き継いでください」と言われて始めたのです。以来29年、100名を超える信徒をお世話しました。

これは努力を必要としますが、それ以上に楽しいのです。毎年少しずつ改善工夫をしつつ、自分の信仰信念を育て深めることができます。いろいろの人たちとの出会いが何よりもうれしいのです。

今教会の司祭は韓国人のハン神父さんです。彼の父は私と同じ年と分かり、彼は息子の世代です。彼の父がこの夏亡くなり、韓国に一時帰国したりして、傷心の彼を慰めている時、彼が私に言ったのです。

「野口さんは95歳まで入門講座を続けてください。」「えー！」

それまでなんとなくやれるまでは続けようと思っていたのですが、はっと気づきました。

そしてそれが今の私の夢になりました。

それまで健康でいなければなりません。ぼけないでいなければなりません。

毎朝の海岸のラジオ体操参加、栄養と健康維持の食事の配慮、睡眠時間の確保。生活のすべてを「95歳まで継続」を夢として動いていきます。

こんな夢を語る機会を与えてくれたKOZOOMと太田さんに感謝です。